

生物製剤の界面活性剤の 高速かつ包括的な特性解析

Agilent AdvanceBio 界面活性剤プロファイリング
HPLC カラム



生物製剤に含まれる界面活性剤の劣化を管理

界面活性剤は、生物学的凝集や吸収を防止するため、生物製剤緩衝液において非常に重要です。特に、ポリソルベートは生物製剤タンパク質の安定化や、医薬品の安全性と効能の確保において不可欠です。ただし、加水分解や酸化によるポリソルベートの劣化により、配合が期待するレベルに達しないことや、その他の悪影響が生じることがあります。規制当局による認識が高まり、監視が強化される中、初期の開発段階における界面活性剤の特性解析が重要になっています。

AdvanceBio 界面活性剤プロファイリングカラムは、ラボの界面活性剤プロファイリングのニーズに応え、バイオ医薬品の迅速かつ効果的な品質確保を実現します。

未来に対応する界面活性剤プロファイリング

現行の界面活性剤定量メソッドでは、40-60 分の時間を要しますが、AdvanceBio 界面活性剤プロファイリング HPLC カラムは、短時間でより優れた分離を実現できます。

得られる利点

- 高分離能分離により界面活性剤の特性解析を向上
- 貴重な時間とコストを削減
- 溶媒を大幅に削減し、持続可能性を促進
- 将来を見据えた規制要件と品質標準の管理

従来の逆相カラムから AdvanceBio 界面活性剤プロファイリングカラムに切り替えることで、
時間短縮とコスト削減が実現

60-83%

時間短縮



55-84%

コスト削減



* 数値は概算

* 既存のメソッドに対し、これらの値は、10 の代表的な LC グラジエント、950 回の注入、100 サンプル/週、1,040 ドルのカラム価格に基づいています。

卓越した結合相、比類のない結果

AdvanceBio 界面活性剤プロファイリングカラムは、10 分未満でポリソルベートモノエステルピークから遊離脂肪酸を簡単に分離できます。一方、この分析に通常使用される他社製のカラムでは、最大で 60 分の分析時間を要し、分離能は低くなります。

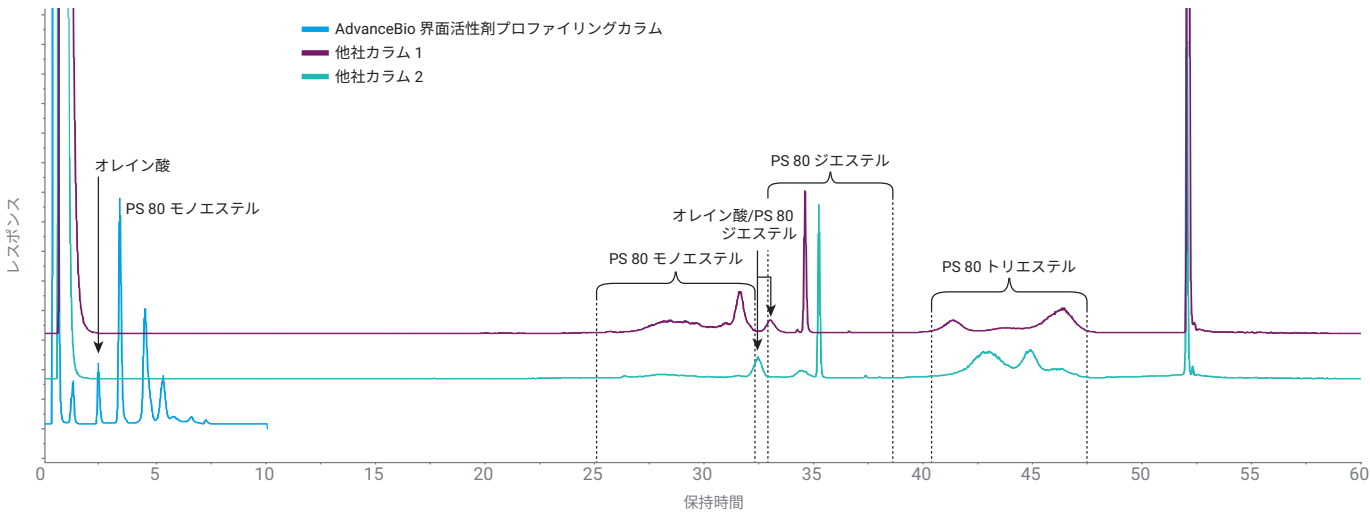


図 1. Agilent AdvanceBio 界面活性剤プロファイリングカラムは、10 分未満でポリソルベートモノエステルピークから遊離脂肪酸を簡単に分離できます。この分析に通常使用される他社カラムでは、分析時間は 60 分で分離能は低くなります。

この堅牢な分析メソッドを実装することにより、将来の規制要件に対応し、開発プロセスの早い段階で品質の問題に対処できます。必要とする詳細な情報が迅速に得られ、時間とコストを節約できます。

製品情報

製品名	部品番号
AdvanceBio 界面活性剤プロファイリング、2.1 x 50 mm	865750-907
AdvanceBio 界面活性剤プロファイリング、2.1 x 100 mm	861775-907
AdvanceBio 界面活性剤プロファイリング、2.1 x 150 mm	863750-907
AdvanceBio 界面活性剤プロファイリング、2.1 mm、Fast Guard	821126-927
AdvanceBio 界面活性剤プロファイリング、4.6 x 50 mm	865973-907
AdvanceBio 界面活性剤プロファイリング、4.6 mm、Fast Guard	820951-927



詳しくはこちら
www.agilent.com/chem/advancebio-surfactant-profiling

ホームページ
www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ
0120-477-111
email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE-006398

アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2025
Printed in Japan, April 22, 2025
5994-8224JAJP

